



応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪 令和4年1月1日発行

あい風通信

51号

(学びのスタンプ通算 58号)

新しい年を迎えて

「令和4年こそカレッジ年」

いしかり市民カレッジ運営委員長 山田 治己

暗中模索の中で迎えた新年、皆様お元気で新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。コロナ禍が収まりつつある昨今ですが、昨年は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。予定講座の中止や延期、受講者数の制限、マスク着用をお願い等、カレッジ生の皆様にはご心配・ご迷惑をおかけしています。

いしかり市民カレッジは令和4年には14年目を迎えます。カレッジの理念である「学びを通して市民の生きがいを高め、まちづくり・人づくりに貢献する」を心がけながら、これからも市民・カレッジ生とともに、より良い学びの機会、学習情報の提供に努めてまいります。

新年度は「受講料等の改定」についてもお願いしています。ご理解いただきたく思います。新年こそ、カレッジの年になることを願っています。

受講料等改定についてのお願い

いしかり市民カレッジ運営委員長 山田 治己

日頃、いしかり市民カレッジにご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、受講料等の改定について検討していることは、あい風通信 50号(10月号)ですすでにお知らせいたしましたが、検討の結果、以下の通り改定し令和4年4月1日からの適用をお願いしたく、諸般の事情をご賢察の上ご理解いただきますようお願い申し上げます。

◇改定内容 [()内はこれまでの設定額]

①年度会費 1,000円(1,000円)

年度会費については、いつでも、だれでも、いつまでも、学び続けていただきたいと考え、据え置きといたしました。

②受講料 座学 カレッジ生 500円(400円) 一般 700円(500円)

バス使用講座(バス使用回のみ) カレッジ生 1,000円(400円) 一般 1,200円(500円)

バス使用講座の高速道路使用料 受講者負担(但し、一人当たりの算定については100円単位とし100円未満の端数は市民カレッジで負担いたします。)

座学については、出来るだけ少ないご負担で学び続けていただきたいと考えて設定いたしました。また、バス使用講座につきましては、これまで保険料、下見の諸経費等は市民カレッジが負担していましたが、その一部をご負担願いたいと考えました(施設入館料については、これまで通り受講者負担とさせていただきます)。なお、近距離(半日)と遠距離(一日)では経費も違うのではないかと疑問もあるかと思いますが、今回は近距離、遠距離を均して算定いたしました。

③講師謝礼 主催講座 15,000円(10,000円)/1回当たり

まちの先生企画講座 5,000円(4,000円)/1回当たり

これまでは、比較的低い謝礼で講師をお願いしていましたが、より広い分野に講師を求めるためにも受講料改定に伴い改定いたしました。

以上、いしかり市民カレッジは皆さまのご協力をいただきながら市民がいつでも学び続ける事が出来る体制作りを進めていきたいと考えています。

どうかご理解、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

令和3年度最後の2講座です お待ちしています！

詳細は、「あい風通信～お知らせ版～」でご確認ください

- ◆まちの先生企画講座 4「銅像を通して北海道開拓の先駆者を点描する」3回
- ◆主催講座 7「北海道の水産と漁村」2回(2/7・2/21)

市民カレッジデータ (12月24日現在)

- 登録者～142人
- 連携団体～104団体



ロゴ制作者
丸山英里子さん

令和4年度の講座概要

主催講座：12 講座 28 回 まちの先生企画講座：5 講座 15 回

令和4年度の講座について数次にわたる会議を開き検討を行ってきましたが、このほどその全体概要がまとまりました。

カレッジ運営委員の新たな提案やカレッジ生募集講座のほか、新型コロナウイルス感染拡大により開催を延期した講座を含め現時点において、主催講座は12 講座 28 回、まちの先生企画講座は5 講座 15 回を開催する方向となりました。

バスを使用した現地見学も7 講座を企画し、これまでと同様に魅力のある講座を目指しています。今後、講座名や講師・日程等の詳細な内容を詰めた上、順次「あい風通信」や「ホームページ」等を通じてお知らせいたします。

次年度は新型コロナウイルス感染の収束により、数多くの皆さんの参加を得て、予定通り講座が開催できることを切に願っております。

《令和4年度主催講座》

- ①「石狩歴史散歩」 2 回
- ②「国際データ通信網と北海道」 3 回
- ③「LGBTについて」 2 回
- ④「北海道林業の過去・現在とその未来」 3 回
- ⑤「世界遺産となった『北海道・北東北の縄文遺跡群』が私たちに伝えるもの」 2 回
- ⑥「伊達邦直が北海道移住を決め、聚富を経てなぜ当別に至ったか」 3 回
- ⑦「私たちの身近な野鳥との共生を考える」 3 回
- ⑧「石狩市の観光政策について」 2 回
- ⑨「変貌する秋鮭漁業環境を生き抜く」 3 回
- ⑩「水惑星の起源を探る火星衛星探査計画MMX」 1 回
- ⑪「石狩遺産を知ろう」 2 回
- ⑫「気象変動と私たちの生活」 2 回

※令和3年度延期講座
※カレッジ生提案講座



(はまます郷土資料)

《令和4年度まちの先生企画講座》

- ①「石狩の海で拾える宝石メノウを知ろう」 3 回
- ②「生振の歴史を探索し生振の現状と課題を考えてみる」 3 回
- ③「タイルクラフト講習会」 3 回
- ④「イチゴを摘んで手作りジャム作り」 3 回
- ⑤「初心者向け健康吹矢」 5 回



(吹矢)

令和3年度修了証授与式のお知らせ……申請書をお忘れなく

第23回の修了証授与式を、年度内に実施する予定で準備を進めております。カレッジ生の皆さんは、「学びの手帳」を確認いただき、該当するスタンプ数に達した方は「申請書」に記入して、事務局へ提出してください。申請書を提出された方には、日程が決まり次第ご案内いたします。

年度更新手続きのお願い

長期にわたるコロナ感染拡大による制約で、カレッジ生の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。そのため講座への足も遠のき、カレッジへの加入者数も大幅に減少してしまいました。

令和4年度は、ウィズコロナを心がけながら計画通りの講座開催を目指しますので、引き続きカレッジ生としての更新をお願いいたします。

- ・年度会費は、1,000 円で変わりません。
- ・1～2 月の講座受講時にも受け付けます。
- ・石狩市公民館へのご持参も可能です。
- ・郵便振込用紙は4 月にお届けします。

～皆様のご協力をお願いいたします～

ボランティアスタッフ募集!!

いしかり市民カレッジは開校して13 年になりますが、講座の企画や実施、広報やあい風通信の発行などは市民ボランティアのスタッフ（運営委員）が中心となって行なっています。

現在、スタッフは高齢化などで活動できない人が出てきており、このままでは市民カレッジの存続は今後難しくなることも予想されます。

そこで、あなたの力が必要なのです！

あなたにピッタリの活動が必ず見つかります。一度、会議を見学してみても如何でしょうか？ 会議をのぞけば、市民カレッジの活動が良くわかりますし、スタッフから詳しく説明もいたします。気軽に、事務局にご連絡下さい。

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見の一部を要約して紹介しています。

講座10「仙台藩白老元陣屋資料館と苦小牧市美術博物館を訪ねて」

「久しぶりの遠出の講座、想像以上にゆったりと学び、見学できました。バスの中で村山先生の資料説明を皮切りに苦小牧市美術博物館、仙台藩白老元陣屋資料館学芸員の丁寧な解説も加わり充実感ある勉強をした感がもてる一日になり大満足でした」「白老にこのような大規模な陣屋跡の史跡がある事は今日まで知らなかったです。胆振管内の歴史と文化を垣間見ることが出来て嬉しさと感動にひたりました」

講座11「日本遺産と炭鉄港めぐり～旧住友赤平炭鉱～」

「石炭産業の多くは、人力による重労働の採炭・輸送の暗いイメージが強かったが、今回の歌志内・赤平の炭鉱遺産の見学により、大正時代以降は、機械化が進み、生産性向上された事が良く理解でき、大変参考になりました」「このような講座を通して、個人では経験できない貴重な資産を学ばせていただきありがとうございました」



講座4「石狩歴史散歩」(2回目)

「石狩の歴史の歴史散歩、やはりすばらしい内容の濃い半日でした。同じ碑、記念物、建物を見ても常に新しい視点で新鮮さを感じる解説は見事なこと！村山先生のお話にはいつも感動してしまいます」「石狩の歴史を学ぶ絶好の機会です。大切に継続して頂きたいと思います」

講座12「石狩浜の漂流物から地球が見える」

第1回「とても分かりやすく、スライド、資料を通して詳しく説明があり大変良かった」第2回「穏やかな天気で海岸歩きが楽しかった。ビーチコーミングの検討会は志賀さんからそれぞれに説明があり新しい発見もありました。漂着物は海からの贈り物～色んな事を考える材料になります。もっと多くの市民が参加できると良いです」「非常に有意義な講座でした。漂着物も季節によって変わるので次回、別の季節に開催して頂きたい。全員の発表はとても良かった」

講座3「石狩市に残る歴史遺産」

「資料に沿って、パワーポイントの参考文献とともに大変わかりやすい解説でした。浜益がユウカラの発祥地として断言し広く伝えられないことが残念です。いろいろな説があるにしても、伝承が残っていることに意味があると思います」「山道復元にかける情熱、思いの深さを感じます。渡邊千秋講師の詳しい解説を資料とスライドでして下さり、とても尊い奉仕の心で皆様方と協力、苦勞され全うされた様子を知り感動しましたよ。是非山道を歩いてみたいです」

講座1「流通最前線の今を知る(現地見学)」

「物流センターではロボットの働きと働く人たちの手際よさに感心しました。エコセンターでは商品を売るだけではなく環境への取り組みにもこんなに努力しているのを見て私たちも一緒に協力しなければと思いました。今日はほんとうに勉強になった一日でした」



講座6「三船殉難事件」

「樺太、満州の戦争の話を知ると本当に胸が詰まる思いです。戦地に向かった親父のことを思い出させる。頑張った親父の姿が目につく」「私も昭和22年、樺太から家族7人で函館に引き上げてきました。(当時5歳)父から三船殉難事件のことは少し聞いていました。戦争のむごたらしいこと、表現できないほどの気持ちになりました。今生き残っている家族は私一人になってしまいました」

まちの先生企画講座3「家庭菜園の土の健康診断」

第1回「親指が捻挫しそうな硬さで少しでも植物が育つ環境にしたいと参加しました。九州の土と北海道の土の色が違ってビックリです」第2回「土質判断の基準が理解できました。今後の菜園作りに生かして行きたいと思います」第3回「実際の自己の畑の化学的性質を計測出来て大変参考になりました。今後の作業に生かしたいと思います。ありがとうございました」第4回「この講座で自分の畑の土の性質を確認できた点がとても良かった」「野菜の栄養状態や土に対する思いも沸き来年度の畑の楽しみが出来た」

チョコっと
いしかり学

《18》

石狩遺産について(第6回)

石狩市が誇る「石狩紅葉山 49 号遺跡」

石狩遺産プロジェクトM会長 安田 秀司

「石狩遺産」は地元の価値再発見という目的があります。その意味で今回取り上げたいのが「石狩紅葉山 49 号遺跡」です。今年7月に10年以上の道のりを経て「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録という悲願が達成されたことは記憶に新しいところです。実は「石狩紅葉山 49 号遺跡」も一時、世界遺産へ名乗りを上げたかどうか！という新聞記事が2004年頃掲載されました。それほどこの遺跡は非常に重要な意味を持った遺跡なのですが、なかなか多くの市民の認識に至りません。

縄文中期、約4000年前の河川に設置された木製の漁労施設の発見は、全国でも例を見ないことで大きな話題となりました。この遺跡が湿地に存在し、ずっと木製品が水漬け状態で維持されたことで腐食せず、現在まで奇跡的に残っていたのです。国内最古の鮭漁施設の発見はまさに「サケの町・石狩」にふさわしく、画期的でした。

石狩遺産では1号の「鮭漁の歴史」において「出土した木製品」を、また、2号の「紅葉山砂丘」では「古砂丘という遺跡の立地」という違う観点で構成資産としています。当会の会員にこの遺跡発掘に実際関わった会員が2名おり、研修会で資料館の展示品を前に、息詰まる発掘現場の様子などを詳細に語ってもらったことがあります。ぜひ皆さんも「石狩紅葉山 49 号遺跡」に改めて関心を持っていただけたらと思います。



出典：石狩紅葉山49号遺跡発掘調査
報告書(石狩市教育委員会)

石狩の不思議～石狩灯台

石狩のシンボルといえる「はまなすの丘公園」に建っている石狩灯台は明治25年1月1日に点灯し、今年130年を迎えます。明治41年に建て替えられましたが、明治時代の灯塔が現存する北海道では唯一の灯台です。

この灯台は1957年映画「喜びも悲しみも幾年月」のロケ地となった時に、初期のカラー映画で色彩効果を出すため木下恵介監督の要請で白から赤白横線塗に変更したのは有名な話です。

当時は白か黒白塗に限定されてましたが、積雪地帯では識別が容易であることが評価され順次採用されました。ちなみに、私が網走マラソンで見た網走能取岬灯台は白黒でした。

去年は灯台の日に合わせて内部公開されましたので見学する機会がありました。明治時代から残る鉄製らせん状階段と板張りの壁がレトロで展望台からは360度の絶景が望めます。今年はぜひ灯台からの展望を体験してください。

《森 幸二》



編集後記

”新庄監督候補”と流された時の反応は様々だった。

ところが監督就任会見で空気は一変しファン心理を驚ぶかみした。ファンも選手もマスコミも動かす計算されたパフォーマンスには脱帽だ。監督ばかり注目されているが、選手の素質が開花する今シーズンの期待が高まる。

新年度の講座もほぼ決まりました。一緒に講座運営する仲間も募集しています。ともに希望の「五黄の寅年」がスタートです。(MK)